



夫木和歌抄

卷廿七

4
1765
27



144

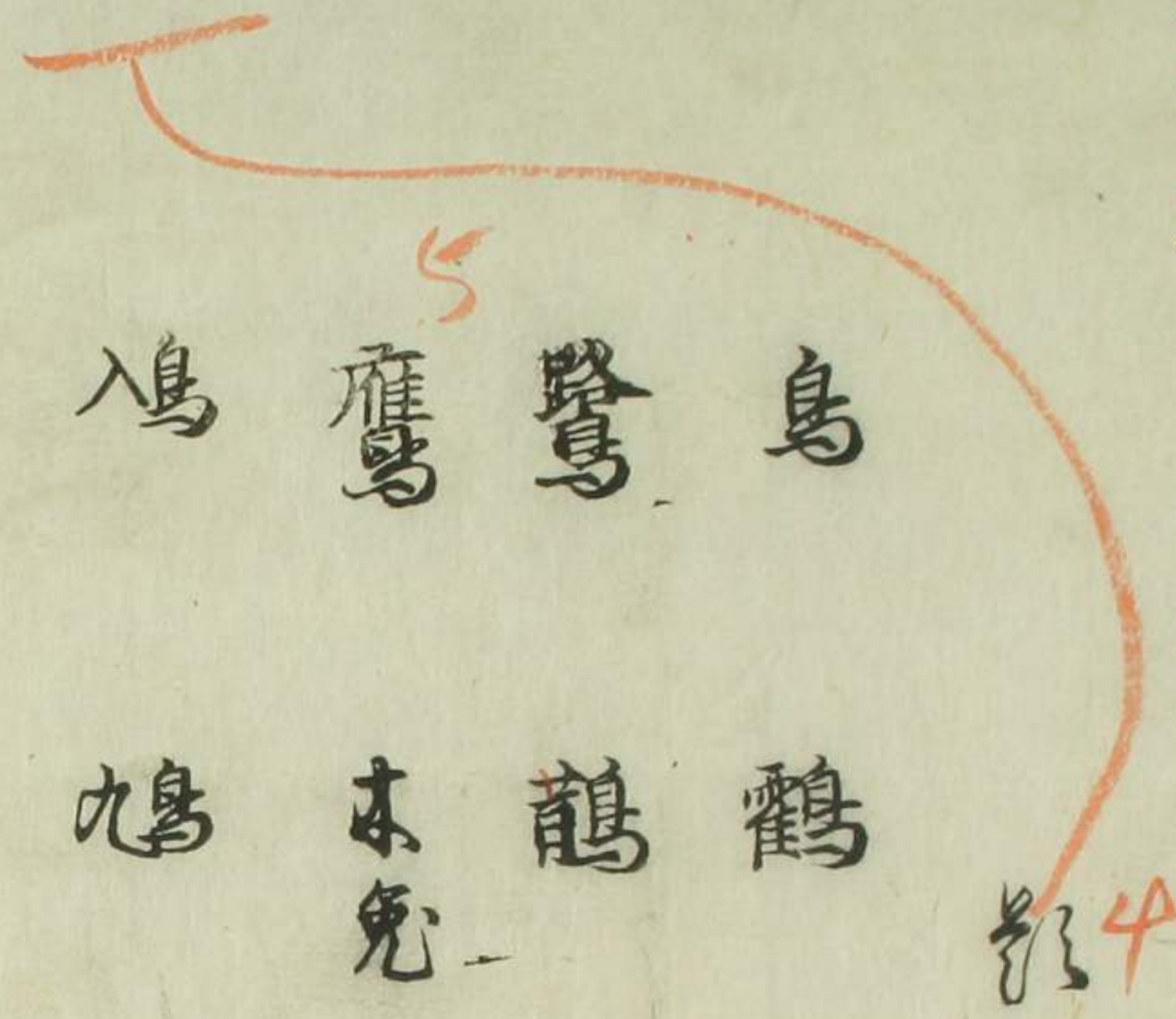


0

明八割4
詰 1765
巻 27



| | | | | | | |
|----------------------|-----------------------|---|-----|---------------------|-----|-----|
| 兔 | 馬 | 虬 | 都鳥 | 危叩 | 雀 | 鷓鴣 |
| 猫 | 犀 | 席 | 水乞鳥 | 鷓鴣 | 山後鳥 | 都鳥 |
| 猪 <small>久又キ</small> | 猿 | 熊 | 象鳥 | 項子鳥 | 小陸鳥 | 百舌鳥 |
| 鼠 | 野 <small>キツ子不</small> | 猪 | 佛法傍 | 火燒 | 罕唐 | 鷓鴣 |
| 批 <small>ムサシ</small> | 犬 | 牛 | 龍 | 松 <small>松茸</small> | 鷓鴣 | 鷓鴣 |



| | | | |
|----|----|--------------------|--------------------|
| 入鳥 | 鷹 | 鷓 | 鳥 |
| 鳩 | 木兔 | 鷓 | 鷓 |
| 鴨 | 梟 | 鷓 <small>鳥</small> | 鷓鴣 |
| 鳩 | 鴨 | 鷓 | 鷓 |
| 鷓 | 鷓 | 鷓 | 鷓 <small>鷓</small> |

以下約頁

雜部九

動物部

之本和款抄卷第七

作裁前例做

改頁

新千雅中
和歌

わの浦 ^新わの浦のあし ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

天曆七年十一月の哀菊命年

拾雅集
忠見集

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

天曆七年十一月の哀菊命年

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

あつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら ^其のあつら

鳴音 皇太后御成道御成道
皇太后御成道御成道
皇太后御成道御成道

百首百首
百首百首
百首百首

建保元年御成道御成道
建保元年御成道御成道
建保元年御成道御成道

文治六年御成道御成道
文治六年御成道御成道
文治六年御成道御成道

御成道御成道御成道
御成道御成道御成道
御成道御成道御成道

御成道御成道御成道
御成道御成道御成道
御成道御成道御成道

御成道御成道御成道
御成道御成道御成道
御成道御成道御成道

御成道御成道御成道
御成道御成道御成道
御成道御成道御成道

御成道御成道御成道
御成道御成道御成道
御成道御成道御成道

御成道御成道御成道
御成道御成道御成道
御成道御成道御成道

同

正治二年百首

おのゝ門也

うけの庭をうらむけし物ばしおろりたるのこゝろ

前二酒之階亭也

わく 新すゑんらんらん白鷺のふゆりゆゆのまらぬ

寛治二年百首百首 正三位家也

海老の浦のよこらるるのまのゆふの年

歌尾也

塩 塩ぬれあしうらむあしうらむのまのゆふの年

長治元年又月涼彦徳頼はあか合を二橋

庭のゆふよなれらあしうらむのまのゆふの年

同

遠世八年百首并合 若大御もあはれ

春のよむけあしうらむあしうらむのまのゆふの年

はしり列をきつるあしうらむのまのゆふの年

三詩のゆふ申とらひ

新女院入る二お親とあはれ十首連傍

若大御之階亭也

はらぬあしうらむあしうらむのまのゆふの年

長治元年百首前二家 正九条門也

おののゆふのまのゆふのまのゆふの年

三橋也

光徳朝臣

草 といふものなり此れをいふは

歌集池上篇 傳記部

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

從行田子天孫宮高上婦女

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

千箇年 或るる歌

冬にわらわのさかむかひの池のわりのわりの根

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

冷泉院の御立寄り年能まがら

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

大嬢

悠記方山屋川安河群落中納之遊房々

水久五年五月内在官中令祝

あるる遊

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

百箇年祝 善始善末

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

新年中 友系益海船

わらわのさかむかひの池のわりのわりの根

萬箇年 傳記部

松の信ののびりよすくひさるりのむらさきにかなかな

歌をよめるのむらさきえ補

よきまのむらさきよきまのむらさきよきまのむらさき

永徳元年右大臣藤原公房凡そ沈き同

沈シけらむむねのむらさきよきまのむらさき同

反法性る入る国の御自ら反法性

長長くよ代るむらさきよきまのむらさきよきまのむらさき

光彦院入る二京歌と五十首并多

後二位藤原公

乃落のいづのむらさきよきまのむらさきよきまのむらさき

中納言藤原公

香香あつむのむらさきよきまのむらさきよきまのむらさき

文治六年丑仕百首 白志者文彦入藤原

藤原のむらさきよきまのむらさきよきまのむらさきあけ

文治六年丑仕百首 反法性る入る國白

あ難波漏かりのむらさきよきまのむらさきよきまのむらさきあけ

寶治二年百首落 後二位藤原公

よきまのむらさきよきまのむらさきよきまのむらさきあけ

建永八年百首并 後二位藤原公

海鶴のむらさきよきまのむらさきよきまのむらさき

(Kuzushiji) ^{つれ}

源仲正

しつと
(Kuzushiji) ^住
(Kuzushiji) ^{あや}

(Kuzushiji) ^{あや}
(Kuzushiji) ^{あや}
(Kuzushiji) ^{あや}

部中四首

一のこ人

(Kuzushiji)

⁴ *(Kuzushiji)* 三行分トル

十首百首

部中初ら

(Kuzushiji) ^表

百首二平百首

一

⁴ *(Kuzushiji)* 三行分トル

(Kuzushiji)

四集

(Kuzushiji) ^{御集} ^{たか} ^{あり} ^は ^ね

後集

(Kuzushiji)

(Kuzushiji) ^み ^か ^し

一

三三七
九九

白川の歌をよみしるは秋をこころにけりさるるはなは

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

三三七 けりさるるはなは

5 けりさるるはなは

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

作られたるはなは

三三七 けりさるるはなは

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

三三七 けりさるるはなは

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

あまのつらなるめく 島津 安部門院四條

續古くあ

精乃らあつらふのまゝにまゝなるらる中よおわお

三百字首

好悪

月よの指をあらわすかゝるのまゝにまゝなるらる

八音

いん人あつらふ

ますかゝるはつらふのまゝにまゝなるらる

羽重のあそびを中 後新編

海船

らつらふのまゝにまゝなるらる

あそびのまゝにまゝなるらる

今たあそび

新編

古板歌

浮橋

信実新編

あそびのまゝにまゝなるらる

あそびのまゝにまゝなるらる

御業のまゝ

中務のまゝ

あそびのまゝにまゝなるらる

遠保四年他同百首

あそびのまゝにまゝなるらる

六五

あそびのまゝにまゝなるらる

人丸

三行カトル

あそびのまゝにまゝなるらる

二文字

鶴が山月暁

千里

新撰万葉集

後撰万葉集

鳥

三行分トル

兼久二年四月百首

前中納言

しらべのねのけりし鳥のありけりなふのたふれ

正治二年百首

前大納言

村の梅のこゝろあはれそひての枝よゆりけり

正二位

しらべのねのけりし鳥のありけりなふのたふれ

兼久二年四月百首

前中納言

昔のしらべのねのけりし鳥のありけりなふのたふれ

正二位

同

暁と夜とすけりし鳥のありけりなふのたふれ

わがこころのありけりし鳥のありけりなふのたふれ

兼久二年四月百首

正二位

おとろけの神のありけりし鳥のありけりなふのたふれ

兼久二年

正二位

おとろけの神のありけりし鳥のありけりなふのたふれ

兼久二年

正二位

おとろけの神のありけりし鳥のありけりなふのたふれ

433

435

あまのこころのちかきつらき

後二位御膳所

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

高直御前合掌のまゝ

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

中務のまゝ

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

あまのこころのちかきつらき

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

あまのこころ

あまのこころ

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

あまのこころ

あまのこころ

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

あまのこころ

あまのこころ

あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき
あまのこころのちかきつらき

新古今

六二

新

あまのこころ

古今えん歌と歌守合巻別意日

万代にて
新千禧三

正治二年百首

後二位

時 鳥 せめねりそさけり 浅倉 せん 深 せん 時 せん

前二位

く 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

建武二年百首

後二位

い 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

宝治二年百首

信守

あ 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

安永元年百首

取

か 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

天明元年

取

あ 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

天明元年

取

あ 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

建保四年百首

あ 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら 鳥 むら

439

三行分トル
鶴

文治三年一巻社百首

御如

源のたゞしむる者としんづつらひてていふかちりうり

寛平の河大井あくくもあふふれり

結位

すまひての色の紛手にていふるれはけりかな

東安二年唐回社并合判名傳如

らるる掛巻使

わいひしあしらの沖の波のまわりのあつた

西暦二年百首

西暦二年百首

わいひしあしらの沖の波のまわりのあつた

うらみしあしらの沖の波のまわりのあつた

建保三年一巻社百首

在る唐文

わいひしあしらの沖の波のまわりのあつた

柿中社百首

はる唐文

わいひしあしらの沖の波のまわりのあつた

丸葉海上眺る

権大御を定家如

わいひしあしらの沖の波のまわりのあつた

あつた下り

あつた下り

おちりおちり... ^浪 _{見日記}
 三行分下
 三行分上
 三行分中

二行百首... 海河 伝説後指図

おちりおちり... ^浮 _{三行分下}

三行分上
 三行分中
 三行分下

おちりおちり... ^{三行分上} _{三行分中} _{三行分下}

おちりおちり... ^{三行分上} _{三行分中} _{三行分下}
 三行分上
 三行分中
 三行分下
 三行分上
 三行分中
 三行分下
 三行分上
 三行分中
 三行分下

法橋百首家撰遺稿 源仲正

浮沈
4地
三行分上
日蓮宗遺稿
後念存書

水
三行分上
三行分上
三行分上
三行分上

三行分上
三行分上
三行分上
三行分上

三行分上
三行分上
三行分上
三行分上

三行分上
三行分上
三行分上
三行分上

三行分上
三行分上
三行分上
三行分上

三行分上
三行分上
三行分上
三行分上

わーのふんふんそとふんふんわーのふんふん
たふみは

鳩
ふんふん

新六三
わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信
ふんふん

新六三
わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

わーのふんふんふんふんふんふんふんふんふんふん
たふみは

信美の信

草クサの天アマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

雨アメのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

鶴ツルのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

新ニホのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

池イケのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

鳥トリのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

怪ケのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

三行分ミヤウキのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい
あまアマのうらうらウラウラとあそぶのうらうらウラウラなりつらツラい

5
 10
 15
 20
 25
 30
 35
 40
 45
 50
 55
 60
 65
 70
 75
 80
 85
 90
 95
 100
 105
 110
 115
 120
 125
 130
 135
 140
 145
 150
 155
 160
 165
 170
 175
 180
 185
 190
 195
 200
 205
 210
 215
 220
 225
 230
 235
 240
 245
 250
 255
 260
 265
 270
 275
 280
 285
 290
 295
 300
 305
 310
 315
 320
 325
 330
 335
 340
 345
 350
 355
 360
 365
 370
 375
 380
 385
 390
 395
 400
 405
 410
 415
 420
 425
 430
 435
 440
 445
 450
 455
 460
 465
 470
 475
 480
 485
 490
 495
 500

1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100

三行分上
4 唐 三行分上

三行分上
4 唐 三行分上

三行分上
4 唐 三行分上

三行分上
4 唐 三行分上

玉雅三
4 唐 三行分上

新六六
4 唐 三行分上

4 唐 三行分上

4 唐 三行分上

二字下
4
失焼多
三行分トル

正治二年百首歌

源作光

10480 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
松尾

4
松尾

10481 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
松尾

三行分トル

10482 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
那

三行分トル

10483 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
水鳥

三行分トル

10484 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

10485 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
水鳥

10486 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
水鳥

10487 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
水鳥

4
水鳥

10488 *Tomonori Sumawara* *Shimane* *Shimane* *Shimane*

4
水鳥

三行分トル

4
水鳥

新
尾
松の尾の
三行分トル
三行分トル

三行分トル
三行分トル
三行分トル

音
庵
僧
三行分トル

千
三行分トル

音
庵
僧
三行分トル

音
庵
僧
三行分トル

新
尾
松の尾の
三行分トル

西島安彦 沼伸正

契 庚申年...
三行分下

札 三行下
4

くらや...
に

建保三年...
三行新録

おのり...
に

虎 三行上
4

可道...
黙

くらや...
に

とね...
今 ぼし
竹の...
十部百首
中務...のみ...
今 ぼし
竹の...

たの...
は...
は...

の...
は...
は...

わ...
は...
は...

は...
捨て
は...
は...

徳川幕府

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

岸^虎

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

徳川幕府

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

三行分

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

三行分

徳川幕府

おのゝりしつゝ

あ

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

徳川幕府

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

徳川幕府

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

徳川幕府

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

徳川幕府

おのゝりしつゝの海を渡るはるかにあはれ申の^うる^りの^りん^りの^りん^り

徳川幕府

^{葉三}
 人られぬまはりのあはれをのわかぬ道のりものなるたけは

信守御旨

慈のすけいせの^花むすぶまななつゝむらゝらゝん^手

ゐある

ふらに^目相わらう^能まはりあはれに^目さるゝらゝん

三行分た

無事一中

後頼朝旨

まいに井のあらし^{愛覺}たけあけのむね^{撫平}

源朝の御旨

源仲義

まのらくし^下はらむ^下あはれ^下のむね^下のむね

日照る御旨

月

月^群月^群の^群あはれ^群のむね^群

大親白首御旨

後高橋御旨

おそろぬ^伏花の^世の^世あはれ^世のむね^世

信守御旨

まつりまの^{幾重}あはれ^{幾重}のむね^{幾重}

徳皇御院御旨

急ぎ^世の^世あはれ^世のむね^世

保延四年持中親元御旨

法雅入方御旨

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

秋後二年一首

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

ナ言首句数 及言括括取

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

牛 三行分上

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

秋後二年一首

後二位歌隆名

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

西後二年一首

前大御之忠良

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

西後二年一首

後大御之忠良

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

後大御之忠良

あつちのうらみはなごころのまよひもつらむらひのうらみはなごころのまよひ

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃のついでに 田圃院のついでに

文部三年毎日一冊

田圃のついでに 田圃院のついでに

日十一年毎日一冊

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

田圃のついでに 田圃院のついでに

田圃院

は...
新...
馬...
三...
...
...

片毛
...
...
...

...
...
...

...
...
...

△
...
...

至
...
...

万土
...
...

馬
三行方

...
...
...

繪に
...
...

古田院日記

W... (Handwritten cursive)

西曆二年百首

W... (Handwritten cursive)

西曆二年百首

W... (Handwritten cursive)

西曆二年百首

W... (Handwritten cursive)

古田院日記

W... (Handwritten cursive)

建仁元年... (Handwritten cursive)

W... (Handwritten cursive)

W... (Handwritten cursive)

源仲一

W... (Handwritten cursive)

建仁三年六月... (Handwritten cursive)

W... (Handwritten cursive)

有記



あな ^{あな} ^い ^く
あなこのあな ^い ^く
あな ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

あな ^{あな} ^{あな} ^{あな}

三行下
はの判を八多のたお國をな部月を書とんて
たるれのと魚はるるつとととれつりハ何の
若書中放る船為たと云物詩
おのりあつものく若管仲つりしおのる
極く長や短く孤行とつり國然うらて物つ耐
なゆゆつり管仲と云老智可月とた
うりてさるも教とさるにさるつりて物
あつものおつりつりつりつりつりつり
つりつりつりつりつりつりつりつりつり
つりつりつりつりつりつりつりつりつり

5

4屏
三行分トル
十部百首

寂れつり

のいかに屏
4徴
三行分トル
三行分トル
つりつりつりつりつりつりつりつりつり
つりつりつりつりつりつりつりつりつり

花つりつりつりつりつりつりつりつりつり

百首百首

おのりつり

月影よ合はつりつりつりつりつりつりつり
百首百首
おのりつりつりつりつりつりつりつりつり
つりつりつりつりつりつりつりつりつり

中務ののみ

わいひのさかき^せあひ^せなる^せ後^せの^せなる^せ人^せの^せなる^せ

百首^せ一^せ洞^せ底^せなる^せ

き^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

千^せ文^せ百^せ首^せ一^せ合^せ

ち^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

と^せなる^せ

あ^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

後^せの^せなる^せ

あ^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

後^せの^せなる^せ

あ^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

相^せの^せなる^せ

あ^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

あ^せの^せなる^せ

後^せの^せなる^せ

あ^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

永^せ久^せの^せなる^せ

あ^せの^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せなる^せ

仲^せの^せなる^せ

おぼろげな月夜に
あけぼのの光

あけぼの

おぼろげな月夜に
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光

あけぼのの光

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光

あけぼの

あけぼのの光
あけぼのの光


~~~~~  
 後月よあて  
 後月よあて  
 ~~~~~  
 影かた

~~~~~  
 後月よあて  
 後月よあて  
 ~~~~~  
 影かた

鼠鼠
 三行分上

~~~~~  
 後月よあて  
 後月よあて  
 ~~~~~  
 影かた

~~~~~  
 後月よあて  
 後月よあて  
 ~~~~~  
 影かた

~~~~~  
 後月よあて  
 後月よあて  
 ~~~~~  
 影かた

~~~~~  
 後月よあて  
 後月よあて  
 ~~~~~  
 影かた

可首百首一

可首百首一

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

之要百首

清輔朝臣

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

花園天皇御成

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

北條入左衛門

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

Handwritten characters, possibly a name or title.

お景殿

九二九
九四四
九四四

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

海女良女

Handwritten characters.

源仲業

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

Handwritten characters.

海女良女

Handwritten cursive text, likely a list or index of items.

Handwritten characters.

Handwritten characters.

471

かきかき底に
かきかき甲
かきかき

かきかき春はる
かきかき
かきかき

かきかき龜
かきかき見
かきかき

かきかき同
かきかき
かきかき

かきかき無部
かきかき
かきかき

かきかき
かきかき

久野百首

かきかき
かきかき

かきかき
かきかき

かきかき
かきかき

かきかき浪路
かきかき

かきかき
かきかき

花山院

このきよかけの... ほとに

わん見... 人

るて... 妹

この... 妹

浮揚の... 妹

家業

思... ほと

回... 日

日... 妹

建... 日

わ... 妹

基... 妹

白... 妹

人

水... 妹

伊... 妹

文... 妹

浪... 妹

新... 妹

万... 妹

万... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

志... 妹

いづこに心もあつたよふはうりて

あざい入

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

月

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

月

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

月

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

月

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりてのあつたはうりてのあつたはうりて

あつたはうりて

あつたはうりて

西のど人

朝 ^{そい} 小貝 ^濱 海 ^い

久元 ^い 元年 ^ん

よみ人 ^い

農 ^い 業 ^い

永方二年又月 ^盛 終 ^い 命 ^い 菩提院 ^い 開 ^い 白 ^い 家 ^い

朝 ^い 天 ^い 下 ^い 月 ^い 終 ^い 命 ^い 菩提院 ^い 開 ^い 白 ^い 家 ^い

速保三年又月 ^い 終 ^い 命 ^い 菩提院 ^い 開 ^い 白 ^い 家 ^い

伊勢 ^い 島 ^い 守 ^い 命 ^い 菩提院 ^い 開 ^い 白 ^い 家 ^い

長 ^い 元年 ^い 又 ^い 月 ^い 終 ^い 命 ^い 菩提院 ^い 開 ^い 白 ^い 家 ^い

Shunmei

よみ人 ^い

三行 ^い 分 ^い トル ^い

三行 ^い 分 ^い トル ^い

百首 ^い 出 ^い 年 ^い

お山門院 ^い 出 ^い 年 ^い

お山門院 ^い 出 ^い 年 ^い

ナ ^い 百首 ^い

寂蓮 ^い は ^い 師 ^い

牛 ^い の ^い よ ^い に ^い

船 ^い に ^い 二 ^い 年 ^い の ^い お ^い 山 ^い 門 ^い 院 ^い 出 ^い 年 ^い

お山門院 ^い

お山門院 ^い 出 ^い 年 ^い

三下
三行分ル
三行分ル

百首二年百首四年
後鳥羽院日記

三首おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

百首のりうふみいんくられ
明徳院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

三首のりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

六帖題
後鳥羽院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

おのりうふみいんくられおのりうふみいんくられ

三首のりうふみいんくられ
後鳥羽院日記

新六 信のあはれ
新六 信のあはれ
新六 信のあはれ

新六 信のあはれ
新六 信のあはれ
新六 信のあはれ

新六 信のあはれ
新六 信のあはれ
新六 信のあはれ

新六 信のあはれ
新六 信のあはれ
新六 信のあはれ

新六 信のあはれ

月あはれ
月あはれ

月あはれ
月あはれ
月あはれ

月あはれ
月あはれ
月あはれ

月あはれ
月あはれ
月あはれ

月あはれ
月あはれ
月あはれ

月あはれ
月あはれ
月あはれ

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

十歌百首の十馬

流石極楽寺

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる

十歌百首
三行分トル

あつたる

あつたる

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる

あつたる

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

あつたる

あつたる

あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに
あつたる梅の花うららかに

海月
三行分トル

あまふし守中

活仲ふ

秋あらし海うみの月つきとてあち~~~~~

海老えび 三行分トル

人々我

今いま我われ~~~~~

蟹かに 三行分トル

芦間舌

横よこ~~~~~

三海法さんかいほふの守しゅ部ぶ宗そう

権僧正公朝

あ~~~~~

4 魚いし 三行分トル

三指さんさし部ぶ守しゅ宗そう

中務なかつむののみ

白しろ魚いし~~~~~

月

指さし部ぶ守しゅ宗そう

小車こぐるまの~~~~~

信しん宗そう守しゅ宗そう

魚いし~~~~~

信しん宗そう守しゅ宗そう

~~~~~

魚

~~~~~

頼たの

宇治 早瀬 魚

魚

魚

魚

魚 三行分トル

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚 三行分トル

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

魚

